

大阪府佛教会創立 60 周年記念事業



第
47
回

全日本仏教徒会議

大阪大会



無量の「いのち」～すべてのいのちを慈しむ～

日程：2025 年 9 月 5 日 (金) 6 日 (土)

会場：ホテル日航大阪

〒542-0086 大阪府中央区西心斎橋 1 丁目 3-3

主催：大阪府佛教会 共催：公益財団法人 全日本仏教会

後援：公益財団法人仏教伝道協会 大阪市仏教会 大阪府佛教青年会

大阪市仏教会社会福祉委員会 大阪青少年教化協議会 大阪市仏教青年会



大阪府佛教会

無量の「いのち」

～すべてのいのちを慈しむ～

大阪で開催される「2025年大阪・関西万博」のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。この万博をきっかけに、新しい技術や製品が生まれ、私たちの生活がより便利になり、様々な変化がもたらされることが期待されています。

万博は社会にとって重要な転換点となる機会です。上掲のテーマと同時に掲げられた「未来社会の実験場」というコンセプトでは、持続可能な世界構築に向けた科学技術の推進が重視されています。

しかしながら、現在の世界情勢を鑑みるに、行き過ぎたテクノロジーや高度資本主義社会の発展による格差・貧困の拡大、社会の分断、地域紛争の多発、その他の解決困難かつ様々な課題に直面しているのです。

そこで、私たち仏教者はこの機会を通じて、本来あるべき未来社会に必要な「精神的文化訴求」の重要性を、ブッダのみ教えを基調とした仏教の智慧として、国際社会に向けて広く訴え発信したいと願う次第です。

ブッダの慈悲と共生の心を訴えるなかで、特に万博テーマに掲げられる「いのち」について、そのありようを仏教的により深くとらえ、「無量の『いのち』～すべてのいのちを慈しむ～」という本大会のテーマに変換し、世界の真の平和とより良い発展の為の提言を行います。

開催地大阪は仏教伝来の地であり、日本仏法最初の官寺、四天王寺をはじめ渡来百済仏所縁の阿弥陀池、行基菩薩御行跡、平安鎌倉仏教興隆の由緒地、南・北御堂並ぶ御堂筋等、多くの仏教所縁の地が点在する宗教都市であり、仏教文化が深く根付く地です。

大阪には伝統的に育まれ受け継がれてきた、仏教を根底とした調和の精神が脈々と伝わり、日本独自のものでもあるこの精神風土をもとに、此の地より仏教のみ教えを踏まえ、万博テーマを更に深めて、輝くべき「無量の『いのち』」を明らかにし、発信してまいります。

大会日程

1 日目

令和7年9月5日(金)

ホテル日航大阪

12:00	開場・受付開始（5階鶴の間）
13:00	開会式 開会の辞 大会実行委員長 願得寺住職 清澤 悟 師
13:05	開会法要 『第四十七回全日本仏教徒会議大阪大会記念法要並びに 世界平和祈願法要（戦後80年、全世界物故者追悼慰霊）』 導師 大会総裁 全日本仏教会第三十六期会長 浄土門主 伊藤 唯眞 猊下
13:45	式 典 挨拶 大会総裁 全日本仏教会第三十六期会長 浄土門主 伊藤 唯眞 猊下 大会会長 大阪府佛教会会長・全日本仏教会副会長 村山 廣甫 老師 祝辞 WFB世界仏教徒連盟 会長 パロップ・タイアリー 氏 感謝状贈呈式 祝電披露 記念撮影
14:30	開会式終了 （休憩）
14:40	諸宗教対話フォーラム 『未来社会における宗教の役割』 ファシリテーター 釈 徹宗 氏（相愛学園学園長・武蔵野大学総長） 登壇者 仏 教： 戸松 義晴 氏（世界仏教徒連盟（WFB）執行役員） キリスト教： 小原 克博 氏（同志社大学学長） イスラム教： アナス・ムハンマド・メレー 氏 （ムスリム世界連盟日本支部代表理事） サイード・佐藤 裕一 氏（ムスリム世界連盟日本支部理事） 神 道： 三宅 善信 氏（国際宗教同志会事務局長）
16:30	諸宗教対話フォーラム終了 挨拶 大阪府佛教会副会長 塚原 昭應 師
16:30～18:00	企画展示（4階白鳥の間） 『戦後80年 大阪大空襲パネル展』
16:45～17:45	特別講演（4階孔雀の間） 『紛争や災害の複合危機から考える平和への思い ～アフガニスタン、ミャンマーの事例から』 講師 シャンティ国際ボランティア会事務局長 山本 英里 氏
18:00	一日目終了

2 日目

令和7年9月6日(土)

ホテル日航大阪

08:00	開場・受付開始 (5階鶴の間)
09:00	開会 法要 三婦依文 大会会長 大阪府佛教会会長・全日本仏教会副会長 村山 廣甫 老師 挨拶 大会副総裁 全日本仏教会副会長 真言宗大覚寺派管長 山川 龍舟 猊下
09:20	終了 (休憩)
09:30	シンポジウム ①「無量の『いのち』～すべてのいのちを慈しむ～」 大阪・関西万博「いのち輝く未来社会のデザイン」シグネチャーパビリオン紹介 福岡 伸一 氏 (大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー 生物学者・青山学院大学教授) 中島 さち子 氏 (大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー 音楽家・数学者・STEAM教育者)
09:50	②ディスカッション (意見交換) コーディネーター 釈 徹宗 氏 (宗教学者・相愛学園学園長・武蔵野大学総長) 登壇者 高橋 源一郎 氏 (小説家・文芸評論家) 山極 壽一 氏 (大阪・関西万博シニアアドバイザー・人類学者・京都大学 前総長) 福岡 伸一 氏 (大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー 生物学者・青山学院大学教授) 中島 さち子 氏 (大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー 音楽家・数学者・STEAM教育者)
11:50	シンポジウム終了 (休憩)
12:00	閉会式 大会宣言 大会実行委員長 大阪府佛教会副会長 清澤 悟 師 大会旗受渡 次期開催地 東京都仏教連合会 代表挨拶 次期開催地代表 東京都仏教連合会 理事長 三吉 廣明 師 挨拶 全日本仏教会理事長 日谷 照應 師 閉会の辞 実行副委員長 大阪市仏教会会長 白井 忠雄 上人
12:30 (予定)	二日目終了

諸宗教対話フォーラム『未来社会における宗教の役割』

【ファシリテーター】

釈 徹宗 氏（相愛学園学園長・武蔵野大学総長）

【登壇者】

仏 教：戸松 義晴 氏（世界仏教徒連盟(WFB)執行役員）

キリスト教：小原 克博 氏（同志社大学学長）

イスラム教：アナス ムハンマド メレー 氏（ムスリム世界連盟日本支部代表理事）

サイード 佐藤 裕一 氏（ムスリム世界連盟日本支部理事）

神 道：三宅 善信 氏（国際宗教同志会事務局長）



釈 徹宗 氏

僧侶。宗教学者。相愛学園学園長。武蔵野大学総長。日本宗教学会常務理事。浄土真宗本願寺派如来寺住職。NPO法人リライフ代表。宗教思想や宗教文化の領域において、比較研究や学際研究を行っている。

論文「不干斎ハビアン論」で涙骨賞優秀賞（中外日報社）。著書『落語に花咲く仏教 宗教と芸能は共振する』で河合隼雄学芸賞（第五回）、また仏教伝道文化・沼田奨励賞（第五十一回）を受賞している。

近著に『喜怒哀楽のお経を読む』（朝日選書）、『住職さんは聞き上手』（晶文社）など。



戸松 義晴 氏

1953年 東京都生まれ、慶應義塾大学、大正大学大学院卒業後、1989年より1991年まで ハーバード大学大学院神学校において応用神学、Engaged Buddhism、死生学を学び神学修士取得。宗教者による「平和活動」「人生の最終段階における医療への取り組み」とはなにかを探求。全日本仏教会理事長、日本宗教連盟理事長を歴任。

現在、浄土宗心光院住職、浄土宗総合研究所副所長、世界仏教徒連盟(WFB)執行役員、WCRP世界宗教者平和会議日本委員会理事長、日韓仏教交流協議会理事長を務める。

著作・論文は『寄り添いの死生学』『Never Die Alone』『Buddhist Care for the Dying and Bereaved』『Traversing the Pure Land Path』『仏教とターミナルケア—エイズホスピス寺院から学ぶもの—』など



小原 克博 氏

1965年、大阪生まれ。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。現在、同志社大学 学長、神学部教授、良心学研究センター長。大学コンソーシアム京都 理事長、日本私立大学連盟 常務理事も務める。専門はキリスト教思想、宗教倫理、一神教研究。著書として『ビジネス教養として知っておきたい 世界を読み解く「宗教」入門』（日本実業出版社）、『一神教とは何か——キリスト教、ユダヤ教、イスラームを知るために』（平凡社新書）などがある。



アナス ムハンマド メレー 氏

1987年、サウジアラビアのマッカ市生まれ。2005年マッカ工業大学IT専攻に入学し、サウジ巡礼省にて勤務。2007年、サウジ国王奨学金プログラム第1期生として来日。日本工業大学ナノ材料工学博士課程まで修得。日本非金属材料企業にて技術者を勤務。2019年、ムスリム世界連盟日本支部代表として着任。その一方で、在日サウジ大使顧問、片倉もとこ記念沙漠文化財団理事、秋田大学非常勤講師も勤めている。工学系、国際協力、文化人類学とイスラームについて学会や講演など参加し、多数の本や論文など執筆に貢献した。



サイード 佐藤 裕一 氏

福島県郡山市生まれ。サウジアラビア・イマーム大学宗教原理学部卒。国内のイスラーム組織でイマーム（礼拝の導師）や信徒の教化活動に携わる一方、大学機関などでアラビア語講師も務める。サウジアラビア王国ファハド国王クルアーン印刷局のクルアーン日本語訳者。宗教法人日本ムスリム協会副会長。一般社団法人ムスリム世界連盟日本支部文化アドバイザー。



三宅 善信 氏

1958年、大阪市生まれ。同志社大学でハーバード大学で学究生活を送った後、金光教内の諸役を歴任。40年の長きにわたり、WCRPやIARFを通じて諸宗教対話活動に貢献。1997年に宗教情報を扱うWebサイト(株)レルネットを創設。国際宗教同志会事務局長や神道国際学会理事長や日本国際連合協会関西本部理事長を務める。G20宗教フォーラムの理事に就任。日本語や英語での著作多数。

シンポジウム

シンポジウム「無量の『いのち』～すべてのいのちを慈しむ～」

【コーディネーター】

釈 徹宗 氏（宗教学者・相愛学園学園長・武蔵野大学総長）

【登壇者】

高橋 源一郎 氏（小説家・文芸評論家）

山極 壽一 氏（大阪・関西万博シニアアドバイザー・人類学者・京都大学前総長）

福岡 伸一 氏（大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー・生物学者・青山学院大学教授）

中島 さち子 氏（大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー・音楽家・数学者・STEAM教育者）



釈 徹宗 氏

僧侶。宗教学者。大阪府立大学大学院比較文化研究科博士後期課程修了。博士（学術）。武蔵野大学総長。相愛学園学園長。兵庫大学教授、相愛大学教授、相愛大学学長を経て、現職。日本宗教学会常務理事。浄土真宗本願寺派如来寺住職。NPO法人リライフ代表として、認知症高齢者のグループホームを長年運営している。宗教思想や宗教文化の領域において、比較研究や学際研究を行っており、博士論文は『親鸞の思想構造 -比較宗教の立場から-』（法蔵館）として出版されている。また、多方面でのダイアログに取り組んでおり、その一部は様々な宗教間の対話に取り組んだ『異教の隣人』（晶文社）や、月刊誌で十三年以上続く対談が書籍化された『住職さんは聞き上手』（晶文社）などにも表現されている。

論文「不干斎ハビアン論」で涙骨賞優秀賞（第五回）、著書『落語に花咲く仏教宗教と芸能は共振する』で河合隼雄学芸賞（第五回）、また仏教伝道文化・沼田奨励賞（第五十一回）を受賞している。

南方熊楠賞選考委員（2020年まで）、涙骨賞選考委員、大阪市民表彰選考委員、MBSラジオ番組審議委員長などを務めている。Eテレで「100分de維摩経」「100分de宗教論」「こころの時代 徹底討論シリーズ」などを担当。

その他の主な著作に『宗教は人を救えるのか』（角川SSC新書）、『死では終わらない物語について書こうと思う』（文藝春秋）、『天才 富永伸基』（新潮新書）、『喜怒哀楽のお経を読む』（朝日選書）、『日本宗教のクセ』（内田樹氏との対談、ミシマ社）などがある。



高橋 源一郎 氏

1951年、広島県尾道生れ。小説家。横浜国立大学経済学部満期除籍。1981年、小説『さようなら、ギャングたち』でデビュー。1988年、『優雅で感傷的な日本野球』で第一回三島由紀夫賞、2001年、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞、2012年、『さようならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞。2005年から明治学院大学国際学部教授に就任。現在は同大学名誉教授。2012年4月からNHKラジオ第1「すっぴん!」金曜日・パーソナリティ、2020年4月から同NHKラジオ第1、金曜日「高橋源一郎の飛ぶ教室」パーソナリティ。現在、毎日新聞で毎週「人生相談」、「サンデー毎日」ではほぼ毎週、コラム「これは、アレだな」、サンケイスポーツで、毎週の土日の予想コラム。以上を連載している。他に季刊誌「トリッパー」で長篇評論「たのしい知識」を連載中。近々、雑誌「新潮」で、小説『DJヒロヒト』の第二部を開始する予定。近刊は『一億三千万人のための『歎異抄』』（朝日新書）、『書くって、どんなこと?』（NHK出版）。最新刊は『ラジオの、光と闇 高橋源一郎の飛ぶ教室2』（岩波新書）。



山極 壽一 氏

1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。ルワンダ共和国カリソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長、日本学術会議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。
現在、総合地球環境学研究所 所長、2025年国際博覧会（大阪・関西万博）シニアアドバイザーを務める。南方熊楠賞、アカデミア賞受賞。著書に『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』（2020年、家の光協会）、『スマホを捨てたい子どもたち-野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』（2020年、ポプラ新書）、『京大というジャングルでゴリラ学者が考えたこと』（2021年、朝日新書）、『猿声人語』（2022年、青土社）、『共感革命-社交する人類の進化と未来』（2023年、河出新書）、『森の声、ゴリラの目-人類の本質を未来につなぐ』（2024年、小学館新書）、『争いばかりの人間たちへ ゴリラの国から』（2024年、毎日新聞出版）、『老いの思考法』（2025年、文藝春秋）など多数。



福岡 伸一 氏

生物学者・作家。京大卒。米国ハーバード大学医学部博士研究員、京大助教授などを経て青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員教授。大阪・関西万博（EXPO 2025）テーマ事業「いのちを知る」プロデューサー。サントリー学芸賞を受賞し、90万部を超えるベストセラーとなった『生物と無生物のあいだ』（講談社現代新書）、『動的平衡』（木楽舎）など、“生命とは何か”を動的平衡論から問い直した著作を数多く発表。ほかに『世界は分けてもわからない』（講談社現代新書）、『できそこないの男たち』（光文社新書）、『ナチュラリスト——生命を愛でる人』（新潮社）、『迷走生活の方法』（文藝春秋）、『福岡ハカセの本棚』（メディアファクトリー）、『福岡伸一、西田哲学を読む—生命をめぐる思索の旅 動的平衡と絶対矛盾的自己同一』（明石書店）、『生命海流GALAPAGOS』（朝日出版）、『新ドリトル先生物語 ドリトル先生ガラバゴスを救う』（朝日新聞出版）など。対談集に『動的平衡ダイアログ』（木楽舎）、『センス・オブ・ワンダーを探して』（だいわ文庫）、坂本龍一氏との共著『音楽と生命』（集英社）、翻訳に『ドリトル先生航海記』（新潮社）『生命に部分はない』（講談社現代新書）『ダーウィンの「種の起源」はじめての進化論』（岩波書店）などがある。
近刊に、大阪・関西万博でのパビリオン「いのち動的平衡館」がどのような過程を経て構想されたのか、また、そこに込められた思いを綴った『君はいのち動的平衡館を見たか 利他の生命哲学』（朝日出版）など。小学館新書からは『新版 動的平衡』シリーズも刊行中。
また、大のフェルメール好きとしても知られ、世界中に散らばるフェルメールの全作品を巡った旅の紀行『フェルメール 光の王国』（木楽舎）、さらに『フェルメール 隠された次元』（木楽舎）を上梓。最新のデジタル印刷技術によってリ・クリエイト（再創造）したフェルメール全作品を展示する「フェルメール・センター銀座」の監修および、館長もつとめた。



中島 さち子 氏

ジャズピアニスト・数値研究者・STEAM 教育者・メディアアーティスト
(株) steAm 代表取締役、(一社) steAm BAND 代表理事
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー（「いのちを高める」）
内閣府STEM Girls Ambassador 東京大学大学院数理学研究科特任研究員
現在は主に音楽・数学・STEAM（教育）・メディアアートなどの世界で、国内外にて多彩に活動。ニューヨーク大学Tisch School of the Arts, ITP (Interactive Telecommunications Program) 修士。
国際数学オリンピック金メダリスト（日本人女性初）。
明治大学先端数理科学インスティテュート（MIMS）客員研究員。
東京大学大学院数理学研究科特任研究員。
文部科学省デジタル学習基盤特別委員会（中央教育審議会臨時委員）。
文化庁文化審議会・文化経済部会委員、文化芸術教育の充実・改善に向けた検討会議委員。
資生堂クレ・ド・ポー ボーテより、STEAM分野（科学、技術、工学、芸術、数学）の教育に貢献した女性を表彰する「Power of Radiance Awards 2025」を受賞。
経済産業省「未来の教室」実証プロジェクトにも多数携わる。
米日財団日米リーダーシッププログラムフェロー。フルブライト。
主な著書に、『クララとそうぞうの木』（ひかりのくに株式会社）、『ヒット曲のすごい秘密』（青春出版社）『知識ゼロからのSTEAM教育』（幻冬舎）『人生を変える「数学」そして「音楽」』『音楽から聴こえる数学』（講談社）絵本『タイショウ星人のふしぎな絵』（絵：くすはらじゅんこ、文研出版）他、主なCDに中島さち子 PianoTRIO “Rejoice” “希望の花”他。